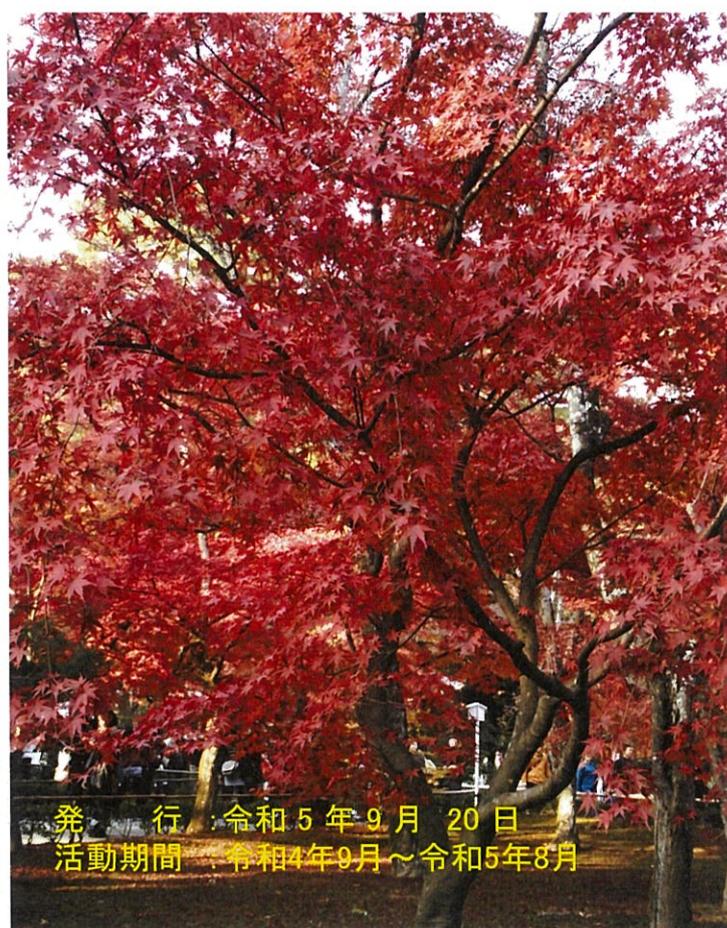


エコアクション21 環境経営レポート



発行 令和5年9月20日
活動期間 令和4年9月～令和5年8月



株式会社緒方塗装

目 次

I 事業活動の概要

II 環境経営方針

III 環境経営組織及び役割

IV 環境経営目標の実績

V 環境活動実施計画

環境活動計画の取組結果とその評価

VI 次年度の取組内容

VII 代表者による全体の評価と見直し

VIII 環境関係法規への違反・訴訟等の有無

I 組織の概要

事業名称及び代表者氏名

株式会社 緒方塗装
代表取締役 緒方 克則

本社所在地 〒880-0055
宮崎市南花ヶ島町341番地3

資材置場・倉庫 〒880-0055
宮崎市南花ヶ島町341番地3

環境管理責任者

エコアクション担当：総務 緒方 律子

電話 0985-22-8091 FAX 0985-23-1519

事業内容

塗装工事業・防水工事業・内装仕上げ工事業・建築工事業

事業規模

資本金 2,000万円

設立年月日 昭和45年8月18日

活動規模	単位	令和3年	令和4年	令和5年
工事等の件数	件	650	480	465
売上高	百万円	506	496	498
従業員	人	39	36	37
敷地面積（本社）	m ²	760	760	760
床面積（本社）	m ²	414	414	414

認証登録範囲

本社の全組織・全活動

本社事務所・資材置場・倉庫

Ⅱ 環 境 経 営 方 針

株式会社緒方塗装は、宮崎という自然環境の良い土地で事業を展開する上で環境へ多大な影響を及ぼすことを認識し、継続的に改善をしながら社会貢献をしていくことを目指します。

- 1 環境への負荷の削減を目標とし、その達成を目指すとともに必要な見直しを行い継続的な改善を実施する。
 - ・エコドライブを心がけて二酸化炭素の削減をします。
 - ・廃棄物の選別、リサイクル活動を促進させます。
 - ・水性塗料を率先して使用します。
 - ・遮熱塗料使用の提案を推進します。
 - ・残材の効果的使用の推進をします。
 - ・高圧洗浄(水洗い) 作業時止水フロートを使用し水の無駄をなくします。
 - ・グリーン購入に取り組みます。
- 2 環境関連法令を遵守します。
- 3 環境目標を設けて環境管理レベルの向上を図ります。
- 4 地域社会における環境ボランティア活動に積極的に参加します。

令和3年9月1日

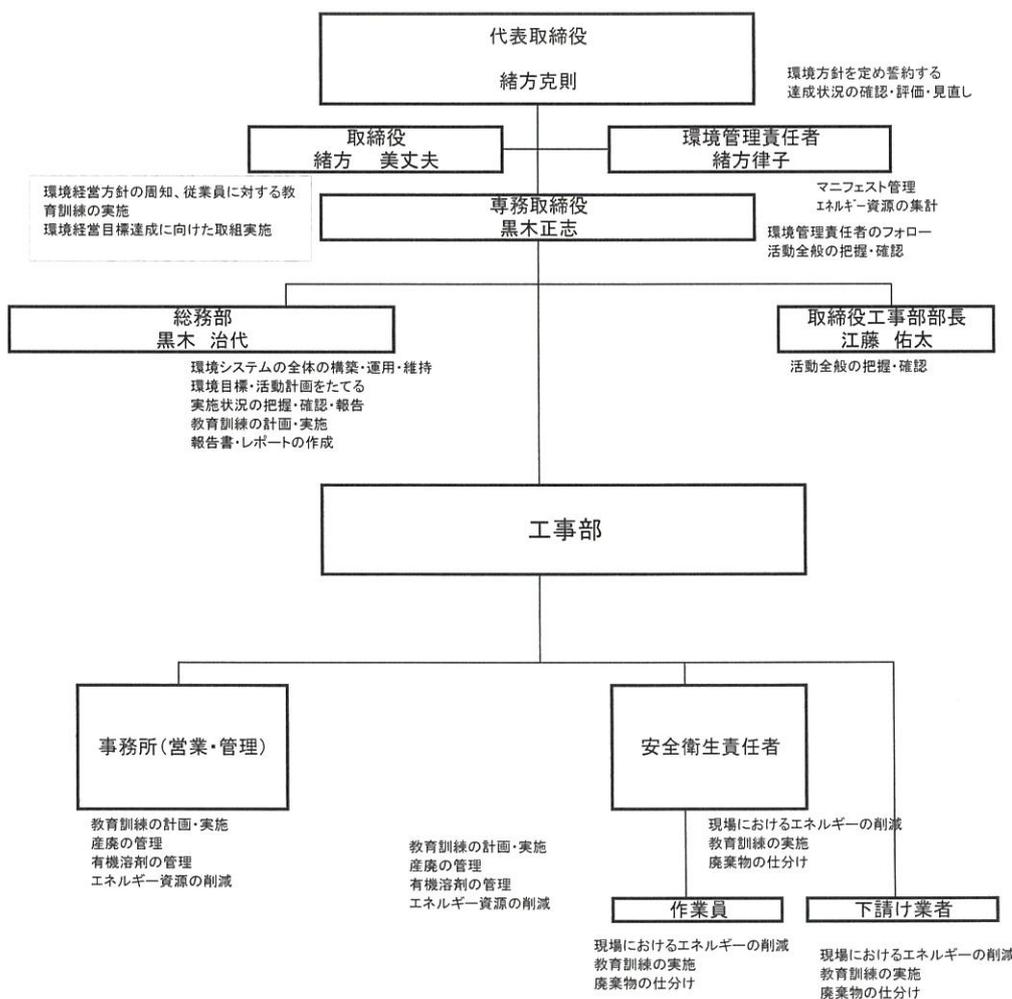


代表取締役 緒方克則

Ⅲ 環境経営組織及び役割・責任・権限

作成日：2022/9/01

作成者：環境管理責任者



VI 環境目標の実績

令和5年から令和7年までの環境目標

- ①二酸化炭素排出量を基準値(令和3年基準)より2%削減する
- ②有機溶剤注文量を基準(令和3年基準)より2%削減する
- ③廃棄物の排出量を基準値(令和3年基準)より2%削減する
- ④水資源使用量を基準値(令和3年基準)より2%削減する
- ⑤グリーン購入品目の購入割合を基準値(令和3年基準)より3%増量する

項 目	単 位	基準値	環 境 目 標		
		R3年 基準	令和5年	令和6年	令和7年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	97,138.6	96,167.2	95,681.5	95,195.8
削減目標		基準値	-1%	-1.5%	-2%
有機溶剤注文量	kg	17119.8	16948.6	16863.0	16777.4
削減目標		基準値	-1%	-1.5%	-2%
廃棄物排出量	t	22.102	21.881	21.770	21.660
削減目標		基準値	-1%	-1.5%	-2%
水資源使用量	L	290	287.1	285.7	284.2
削減目標		基準値	-1%	-1.5%	-2%
グリーン購入推進	%	75.3	76.1	76.2	76.3
購入目標		基準値	1%	1.2%	1.3%

2. 環境目標に対する実績

活動期間中の年度別目標の実績値は以下の通りです

項 目	単 位	活動期間		
		令和5年	令和6年	令和7年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	89,071		
	達成率(%)	-7.4%	-100.0%	-100.0%
	評価(環境目標以下)	○		
有機溶剤注文量	kg	10,687		
	達成率(%)	-36.9%	-100.0%	-100.0%
	評価(環境目標以下)	○		
廃棄物排出量	t	22.65		
	達成率(%)	3.5%	0.0%	-100.0%
	評価(環境目標以下)	×		
水資源使用量	L	114		
	達成率(%)	-60.3%	-100.0%	-100.0%
	評価(環境目標以下)	○		
グリーン購入推進	%	90.8		
	達成率(%)	19.3%	-100.0%	-100.0%
	評価(環境目標以下)	○		

グリーン購入は過去1年間の数値

使用電力のCO₂排出係0.391

今期は、9月10月11月12月1月2月約半年間日向土木事務所発注分上野野橋宮崎市発注分生目台団地鳥居原団地等3ヶ所官庁工事が重なり前半は、二酸化炭素排出量も増加してましたが後半は目標をクリアし、平均したら目標達成できました。

ごみの排出量も元請工事が多かったことも影響してる。塗料の仕入れも毎年の課題です。

V 環境活動実施計画

- ①二酸化炭素の削減をします。
 - ガソリン使用量の削減 エコドライブを徹底する。
 - 軽油使用量の削減 乗り合わせや効率の良い配車をする。
 - 電気使用量の削減 使わない電気は消す。
- ②廃棄物の選別、リサイクル活動を促進させます。
 - 塗料缶は出来る限りリサイクルへ出す。
 - 資源ごみを仕分けして廃棄ゴミを減らす。
- ③止水フロートを使用し水道水使用量を減らす。
 - 塗料・汚れ等を十分落として洗浄する。
 - 高圧洗浄(水洗い) 洗車等の水道使用量の削減。
- ④有機溶剤の注文数量の削減
 - 化学物質の適正な管理。
 - 水性塗料を率先して使用する。
 - 溶剤系の材料を水性に切り替える提案。

遮熱塗料使用の提案を推進します。

- ⑤グリーン購入に取り組みます。
 - 商品注文はエコマーク・グリーンマークの商品を選ぶ。
 - 配達回数をなくす為 まとめて購入する。

環境活動実施の評価

- ①官庁工事が重複した年度でした。日向土木事務所発注の上野野橋は、電気が通ってなく発電機使用の現場でした。
その影響もあり9月から12月まで連続で未達成。
- ②廃棄物の選別はきちんとされ、塗料缶は、ほぼリサイクル回収できた。
廃棄量は、年間目標が未達成になった。昨年に比べて廃油の廃棄量が減少しました。
- ③水道量は、新社屋になって安定してきた。
- ④橋梁剥落対策工事の現場があったが、目標達成することができた。
- ⑤会社備品等エコマークを重視して注文することができた。

VI 次年度の取組内容

- ①二酸化炭素の削減に努める
- ②塗料缶のリサイクル活動及び廃棄物の仕分け、削減
- ③水性塗料の率先注文及び提案
- ④遮熱塗料使用の提案を推進します。
- ⑤現場における環境活動の提案及び実施
- ⑥使用水量の把握の徹底

VII 代表者による全体の評価と見直し

今年度は、新社屋3年目の活動となりました。例年より梅雨明けも早く夏季の猛暑、遠方の現場が多くエネルギー効率が増加し4ヶ月間連続して目標を達成できなかったが

8ヶ月間は毎月の目標達成し、年間は二酸化炭素排出量達成できた。

廃棄物排出量削減は、分別を徹底させてリサイクルさせる。塗料廃棄量は、昨年に比べて減少しててがごみの排出量は全体的にもう少し減らしたい。官公庁の現場が多かったこともあり、ごみの排出量は未達成。

水道量は、昨年より大幅に安定していた。事務所内の水道量は安定してるため、作業員の休憩所がある建物洗い場も管理することにした。適正な水の使用や作業時以外の節水意識高めていきたい。

遮熱塗料の推進は意識して提案できたと思う。

コピー用紙・文具等グリーン購入推進に努めている、必要品がグリーマーク付のみを購入したため達成。

コロナも落ち着き ボランティア活動も積極的に参加できるようになりました。工業高校・技能祭り・橋の日清掃活動・河川敷等のゴミ拾いに参加しました。

VIII 環境関係法規への違反・訴訟等の有無

①事業に関連する環境関係法規

法律名	内容	遵守性
大気汚染防止法	塗装時のシンナー使用	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	工事等で発生する廃棄物	遵守
河川法	橋梁塗装時の塗料やケレン屑の飛散	遵守
消防法	塗料の保管方法や管理方法	遵守
水質汚染防止法	橋梁塗装時の塗料やケレン屑の飛散	遵守
騒音規制法	機器使用時の騒音	遵守
悪臭防止法	シンナー等の管理	遵守
リセスアセスメン	SDSシート	遵守

②環境関連法に関する調査結果

環境関連法については遵守確認をしました。また、監督官庁からの指摘もありませんでした。

違反及び訴訟はありませんでした。